

令和 8 年度

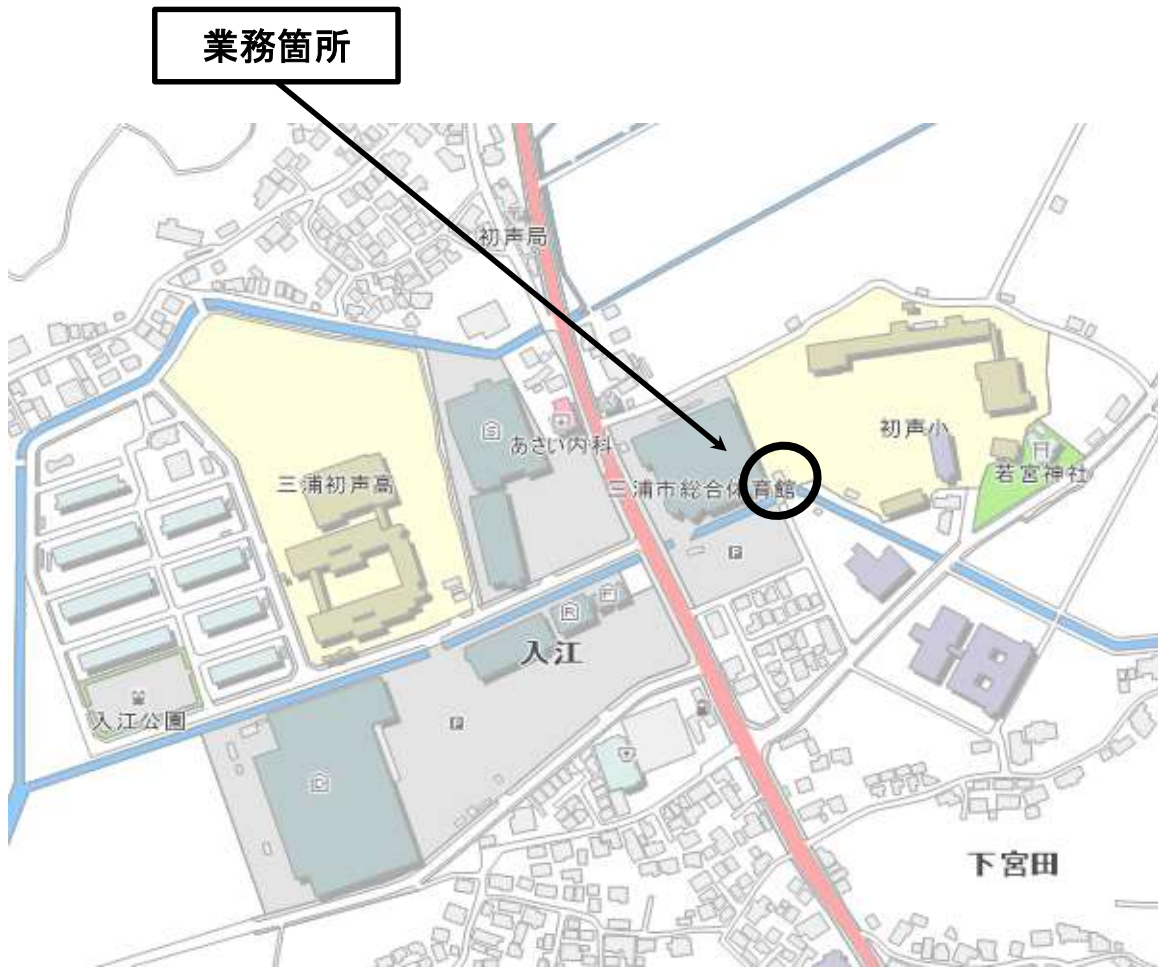
地下雨水貯留施設管理業務委託

業務設計書

三浦市役所

都市環境部 土木課

位置図



令和 08 年度 設 計 積 算 書 表 紙 (当 初)	
設 計 書 番 号	年度 08
事 業 所 名	三浦市
(工 事 ・ 業 務) 名	令和8年度 地下雨水貯留施設管理業務委託
(工 事 ・ 業 務) 箇 所	三浦市初声町入江地内
(河 川 ・ 路 線 ・ 区 域) 名	一番川
単 価 採 用 地 区 名	横須賀
事 業 区 分	
工 期	契約日から 年 月 日 まで
設 計 金 額	(円) 円
設 計 概 要	地下雨水貯留施設 ポンプ口径φ300mm：2台、φ100mm：1台 <ul style="list-style-type: none"> ・年次点検 一式 (点検回数 1回/年) ・日常点検 一式 (点検回数15回/年)
(起 工 ・ 変 更) 理 由	本業務委託は、地下雨水貯留施設の点検整備を定期的に行い、施設の機能を維持するものです。

令和 08 年度 設 計 積 算 書 表 紙 (当 初)

<支出科目>

款	7
項	3
目	1
目の細目	
節	12

<合併区分情報>

合併処理設定	しない	
	区 分 1	
	区 分 2	
	区 分 3	
	区 分 4	
	区 分 5	
	区 分 6	
	区 分 7	
	区 分 8	
	区 分 9	

<全体金額情報>

	当初官積算額 (a)	当初請負額(b1)	今回変更官積算額 (c)	今回変更請負額	増減 (d)-(b1) or (b2)	備 考
		前回変更請負額(b2)		(d)=(b1)/(a)×(c)		
本工事費						
工事価格						
消費税等相当額						

令和 08 年度 積算諸条件調書 (当初)

経費等情報	主たる工種	河川工事		
	施工地域・工事場所区分	補正無し		
	現場環境改善費計上区分	計上しない		
	緊急工事による補正	補正しない		
	前払金支出割合	補正しない		
	契約保証の方法	補正なし		
	間接工事費率補正 (上記「施工地域・工事場所区分」、「契約保証」以外で補正がある場合)			
	共通仮設費率補正	0.00%		
	現場管理費率補正	0.00%		
	一般管理費率補正	0.00%		
	間接労務費・工場管理費計上区分	計上しない		
	土木工事標準積算基準書 適用年版	令和07年7月1日適用		
	土木工事資材等単価表 適用年版	令和8年4月1日基準		
	週休割増補正区分	補正しない		
	ICT施工補正区分	補正しない		
積算数量等情報	名称	採用数量	単位	備考

(その他情報欄)

本 工 事 費 内 訳 書

(上段：前 回 下段：今 回)

費目	工種	種別	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
本工事費							
点検・整備業務			1	式			
点検整備費			1	式			
点検整備費			1	式			第 0001 号 内訳書
直接工事費計			1	式			
共通仮設費計			1	式			
共通仮設費 (率分)			1	式			【千円止】
純工事費			1	式			
現場管理費			1	式			【千円止】
工事原価			1	式			
一般管理費等			1	式			
工事価格			1	式			【万円止】
消費税及び地方消費税相当額			1	式			10.00%

第0001号 内訳書
点検整備費

1 式

(上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(AMA0010) 年次点検 (1回/年)	1	式			第0001号下内
(AMA0020) 日常点検 (15回/年)	1	式			第0002号下内
(AMA0030) 流入桝清掃点検	1	式			第0003号下内
(AMA0040) 保守点検	1	式			第0004号下内
合 計					

第0001号 下位内訳書
 AMA0010 年次点検 (1回/年)

1 式 当り
 適用年版 T0804
 (上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(SJ0010) 年次点検 ポンプ口径Φ300mm 赤本IX-20-46	2	回			第0001号単価表
(SJ0020) 年次点検 ポンプ口径Φ100mm 赤本IX-20-46	1	回			第0002号単価表
(TJ0010) ポンプオイル 3台分 (年1回)	1	回			
(SJ0070) 雑材料	1	式			第0003号単価表
合 計					
	1	式			円/式

第0002号 下位内訳書
 AMA0020 日常点検 (15回/年)

1 式 当り
 適用年版 T0804
 (上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(SJ0040) 日常点検 ポンプ口径Φ300mm 赤本IX-20-46	30	回			第0004号単価表
(SJ0050) 日常点検 ポンプ口径Φ100mm 赤本IX-20-46	15	回			第0005号単価表
合 計					
	1	式			円/式

第0003号 下位内訳書
 AMA0030 流入桝清掃点検

1 式 当り
 適用年版 T0804
 (上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(SJ0080) 流入桝清掃点検 (人力)	16	回			第0006号単価表
合 計					
	1	式			円/式

第0004号 下位内訳書
 AMA0040 保守点検

1 式 当り
 適用年版 T0804
 (上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(TJ0050) 遠隔監視制御システム コルソス調整費 (諸経費含む)	1	式			
合 計					
	1	式			円/式

第0001号 単価表
 SJ0010 年次点検
 ポンプ口径Φ300mm 赤本IX-20-46

1 回 当り
 適用年版 T0804
 (上段：前 回 下段：今 回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(R0317) -00002 点検整備工		人			[1]
	1.537				
(ZS8000004) 諸雑費(率+まるめ) Σ[1] * 0.02		式			
	1				
合 計					
		回			整数止め切捨て 円/回
	1				

第0002号 単価表
 SJ0020 年次点検
 ポンプ口径Φ100mm 赤本IX-20-46

1 回 当り
 適用年版 T0804
 (上段：前 回 下段：今 回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(R0317) -00002 点検整備工		人			[1]
	0.787				
(ZS8000004) 諸雑費(率+まるめ) Σ[1] * 0.02		式			
	1				
合 計					
		回			整数止め切捨て 円/回
	1				

第0003号 単価表
SJ0070 雑材料

1 式 当り
適用年版 T0804
(上段：前 回 下段：今 回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(TJ0030) 錆止めスプレー 300ml	2	本			
(TJ0040) アクリルラッカースプレー	2	本			
合 計					
	1	式			整数止め切捨て 円/式

第0004号 単価表
SJ0040 日常点検
ポンプ口径Φ300mm 赤本IX-20-46

1 回 当り
適用年版 T0804
(上段：前 回 下段：今 回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(R0317) -00002 点検整備工	0.053	人			[1]
(ZS8000004) 諸雑費(率+まるめ) $\Sigma [1] * 0.02$	1	式			
合 計					
	1	回			整数止め切捨て 円/回

第0005号 単価表
 SJ0050 日常点検
 ポンプ口径Φ100mm 赤本IX-20-46

1 回 当り
 適用年版 T0804
 (上段：前 回 下段：今 回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(R0317) 点検整備工 -00002	0.043	人			[1]
(ZS8000004) 諸雑費(率+まるめ) Σ[1] * 0.02	1	式			
合 計					
	1	回			整数止め切捨て 円/回

第0006号 単価表
 SJ0080 流入柵清掃点検 (人力)

1 回 当り
 適用年版 T0804
 (上段：前 回 下段：今 回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(R0102) 普通作業員	0.63	人			[1]
(ZS8000004) 諸雑費(率+まるめ) Σ[1] * 0.02	1	式			
合 計					
	1	回			整数止め切捨て 円/回

1. ポンプ1台あたり定期点検回数

(回)

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	小計	合計
定期点検	種類 出水期			2	2	2	1	2						9	15
	月 非出水期		1						1	1	1	1	1	6	
検	年						1							1	1

上記の表から施設の定期点検回数は下記のとおりとなる。

日常点検

- ・主ポンプ15回×2台=30回
- ・床ポンプ15回×1台=15回

年次点検

- ・主ポンプ 1回×2台=2回
- ・床ポンプ 1回×1台=1回

流入柵清掃点検（人力）

- ・16回（日常点検時、年次点検時に併せて点検を実施）

仕 様 書

機器番号	A734142 /
機器名称	1号・2号排水ポンプ /

ポンプ仕様書			備 考
ポンプ型式	TO300B615-51 /		
用途			
口径	300 /	mm /	
段数			
全揚程	6.5 /	m /	
吐出し量	10 /	m ³ /min /	
回転数	S.S.1000 /	min-1 /	
台数	2 /	台 /	
モータ仕様			備 考
出力	15 /	kW /	
極数	6 /	P /	
相数	3 /	φ /	
電圧	200 /	V /	
周波数	50 /	Hz /	
型式	TIKK-CCL225 /		
定格電流	63 /	A /	
回転数	950 /	min-1 /	
絶縁	B /	種 /	許容温度:130度
周囲温度	常温 /		
始動方式	スターデルタ始動 /		
ケーブルタイプ M1	20 /	m /	
ケーブルタイプ M2	2PNCT /		
ケーブルタイプ M3	9c(7c*8sq,2c*2sq) /		
回転方向	(負荷側から見て) 反時計回り /		
塗装	変性エポキシ樹脂塗装3回塗り /		
オイル量	6000 /	ml /	
質量	520 /	kg /	(ケーブル単体を除く ポンプ単体乾燥質量)
付属品			
予備品			
備考			

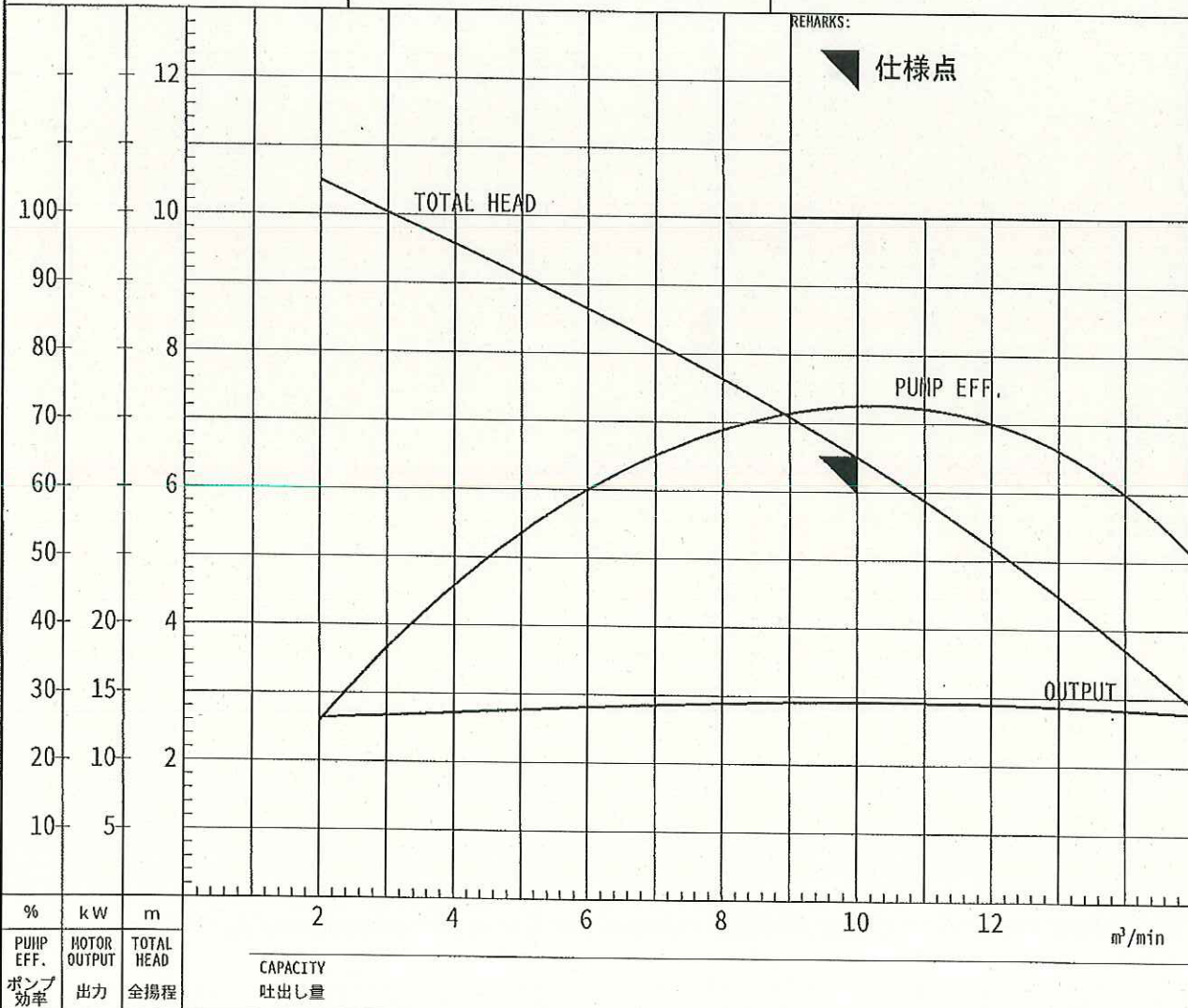
No. 図番 A-00158-4

予想性能曲線図 PUMP PERFORMANCE CURVES

TYPE 名称 汚物用水中ノンクログポンプ MODEL 型式 T0300B615 -51 FREQUENCY 周波数 50 Hz

CUSTOMER'S NAME 御注文先 三浦市役所 殿
EQUIPMENT TITLE 機器名称 1号, 2号排水ポンプ No.

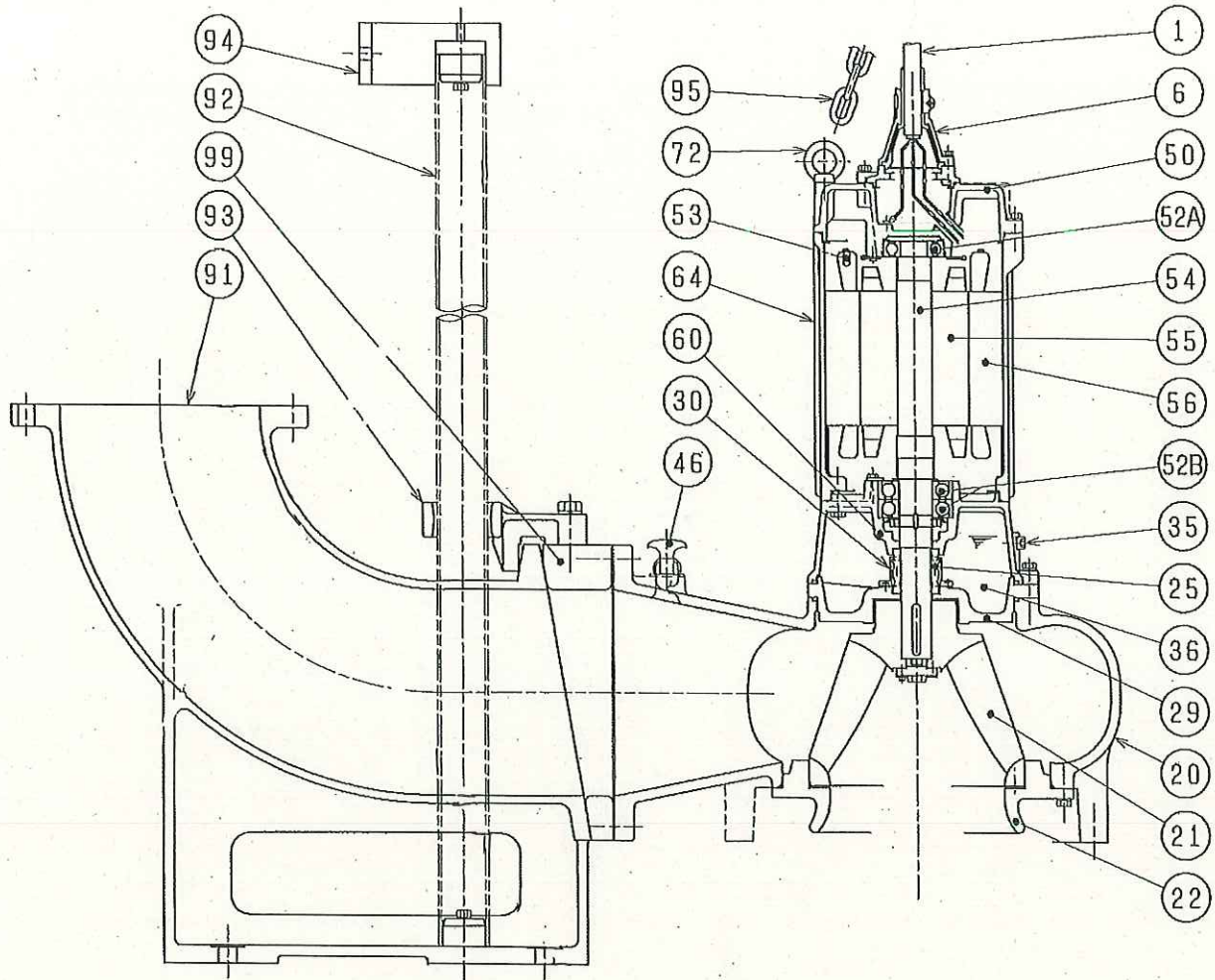
	標準仕様 STANDARD SPECIFICATIONS	御注文仕様 REQUIRED SPECIFICATIONS
口径 : DISCHARGE BORE	300 mm	mm
全揚程 : TOTAL HEAD	6.5 m	m
吐出し量 : CAPACITY	10 m ³ /min	m ³ /min
出力 : MOTOR OUTPUT	15 kW	kW
相×電圧 : PHASE×VOLTAGE	3 φ × 200 V	φ × V
電流 : CURRENT	63 A	A
極数 : POLES / 回転速度 : SPEED OF ROTATION	6 P / S.S. 1000 min ⁻¹	P / min ⁻¹
始動方式 : STARTING METHOD	スターデルタ始動	
耐熱クラス : INSULATION CLASS	B	



株式会社 鶴見製作所

TSURUMI MFG. CO., LTD.

構造図	SECTIONAL DRAWING No.	No. A-00163-6
TYPE 名称	汚物用水中ノンクログポンプ	MODEL 型式
		TO300B615 -51



御注文仕様
変性エポキシ塗装3回塗り

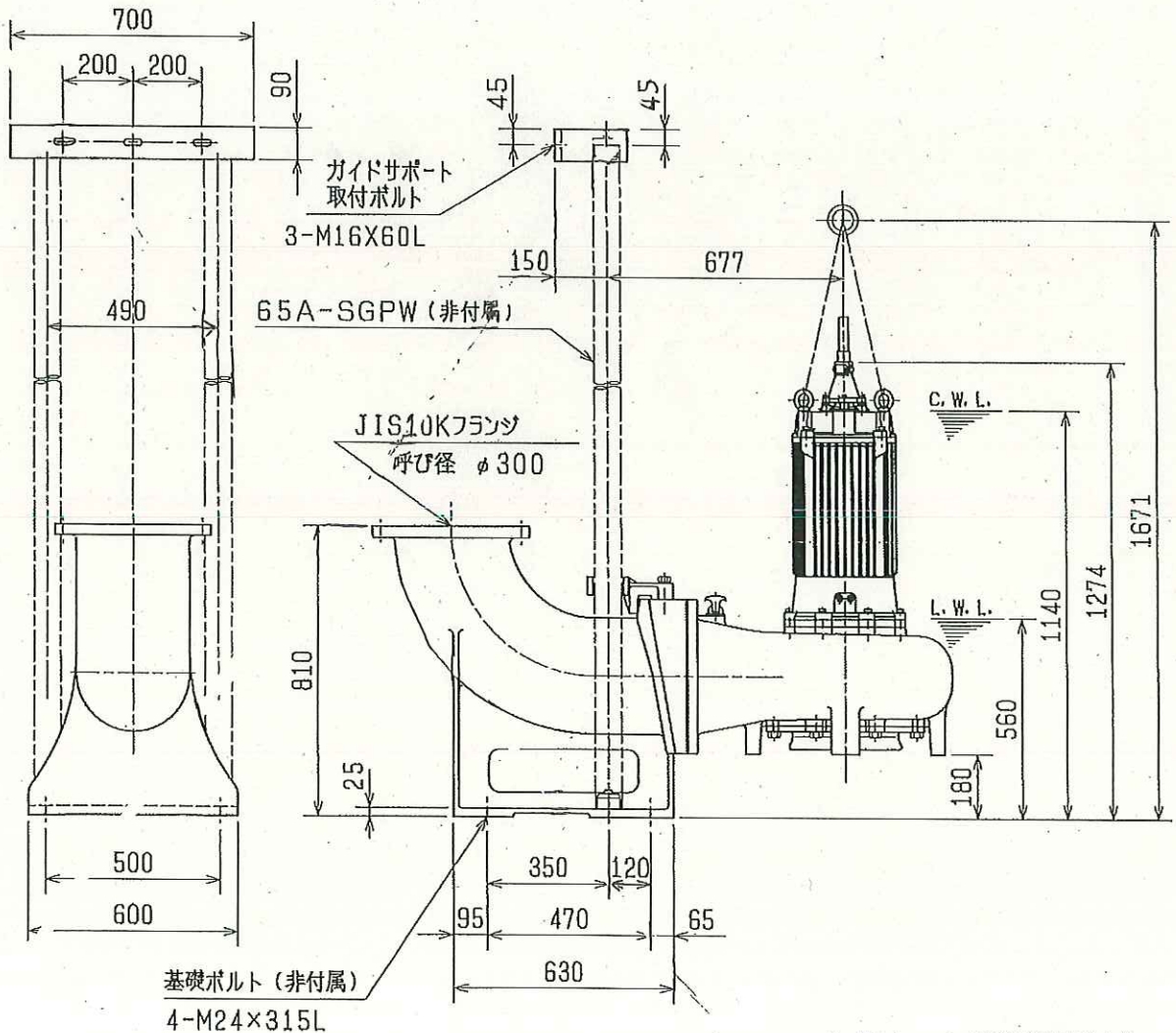
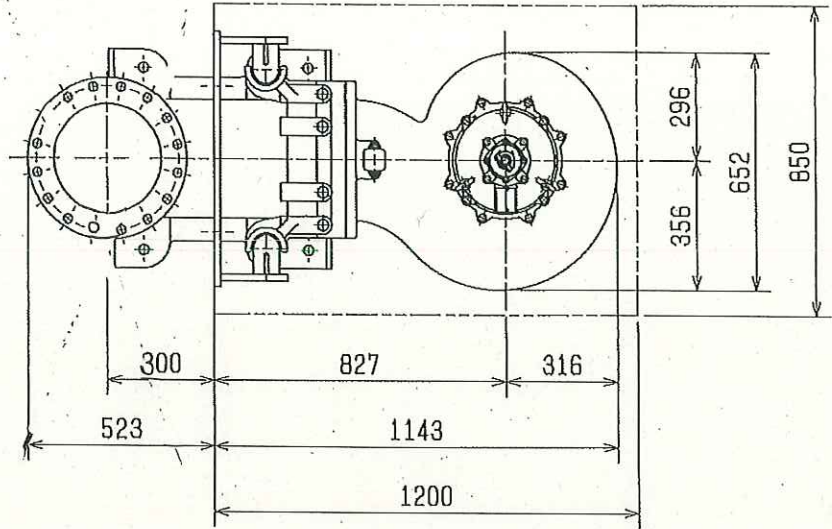
※1 $\left[\begin{matrix} 7c \times 8mm^2 \\ 2c \times 2mm^2 \end{matrix} \right] \times 20m$

品番	品名	個数	材質 / 備考	品番	品名	個数	材質 / 備考
1	キャプタイヤケーブル	1	2PNCT ※1	54	主 軸	1	SUS420J2
6	スタフティングボックス	1	FC200	55	回 転 子	1	
20	ポンプケーシング	1	FC200	56	固 定 子	1	
21	羽 根 車	1	FC200	60	ベアリングハウジング	1	FC200
22	サクションカバー	1	FC200	64	モータフレーム	1	FC200
25	メカニカルシール	1	H-45X	72	吊りボルト	3	SUS
29	オイルケーシング	1	FC200	91	着脱バンド	1	FC200
30	オイルリフター	1	樹 脂	92	ガイドパイプ	2	SGPW (非付属)
35	注油プラグ	2	SUS304	93	ガイドフック	1	FCD450
36	潤 滑 油		タービン油 VG32	94	ガイドサポート	1	SS400
46	エアバルブ	1	SPCC	95	チ ー ン	1	SUS, 7m
50	モータブラケット	1	FC200	99	着脱用相フランジ	1	FC200
52A	上 部 軸 受	1	6308ZZC3				
52B	下 部 軸 受	1	6310ZZD2C3				
53	モータ保護装置	3					

据付外形寸法図 DIMENSION DRAWING No.		No. A-00162-5
TYPE	MODEL	
名称 汚物用水中ノックロックポンプ	型式 T0300B615 -51/61	

概算質量(※)	
着脱部	本体
270kg	520kg

※ケーブルは除く



C. W. L. : 連続運転最低水位
L. W. L. : 運転可能最低水位

仕 様 書

機器番号	A734141 /
機器名称	床排水ポンプ /

ポンプ仕様書			備考
ポンプ型式	TOS100B43.7-52 /		
用途			
口径	100 /	mm /	
段数			
全揚程	10.0 /	m /	
吐出し量	1.0 /	m ³ /min /	
回転数	S.S.1500 /	min ⁻¹ /	
台数	1 /	台 /	
モータ仕様			備考
出力	3.7 /	kW /	
極数	4 /	P /	
相数	3 /	φ /	
電圧	200 /	V /	
周波数	50 /	Hz /	
型式	JT1-4-3.7-B /		
定格電流	15.8 /	A /	
回転数			
絶縁	F /	種 /	許容温度:155度 /
周囲温度	常温 /		
始動方式	じか入れ始動 /		
ケーブル M	20 /	m /	
ケーブル N2	VCT /		
ケーブル N3	4c*3.5sq /		
回転方向	(負荷側から見て) 反時計回り /		
塗装	変性エポキシ樹脂塗装3回塗り /		
オイル量	1200 /	ml /	
質量	105 /	kg /	(ケーブル単体を除くポンプ単体乾燥質量) /
付属品			
予備品			
備考			

No.
図番

A-27183-1

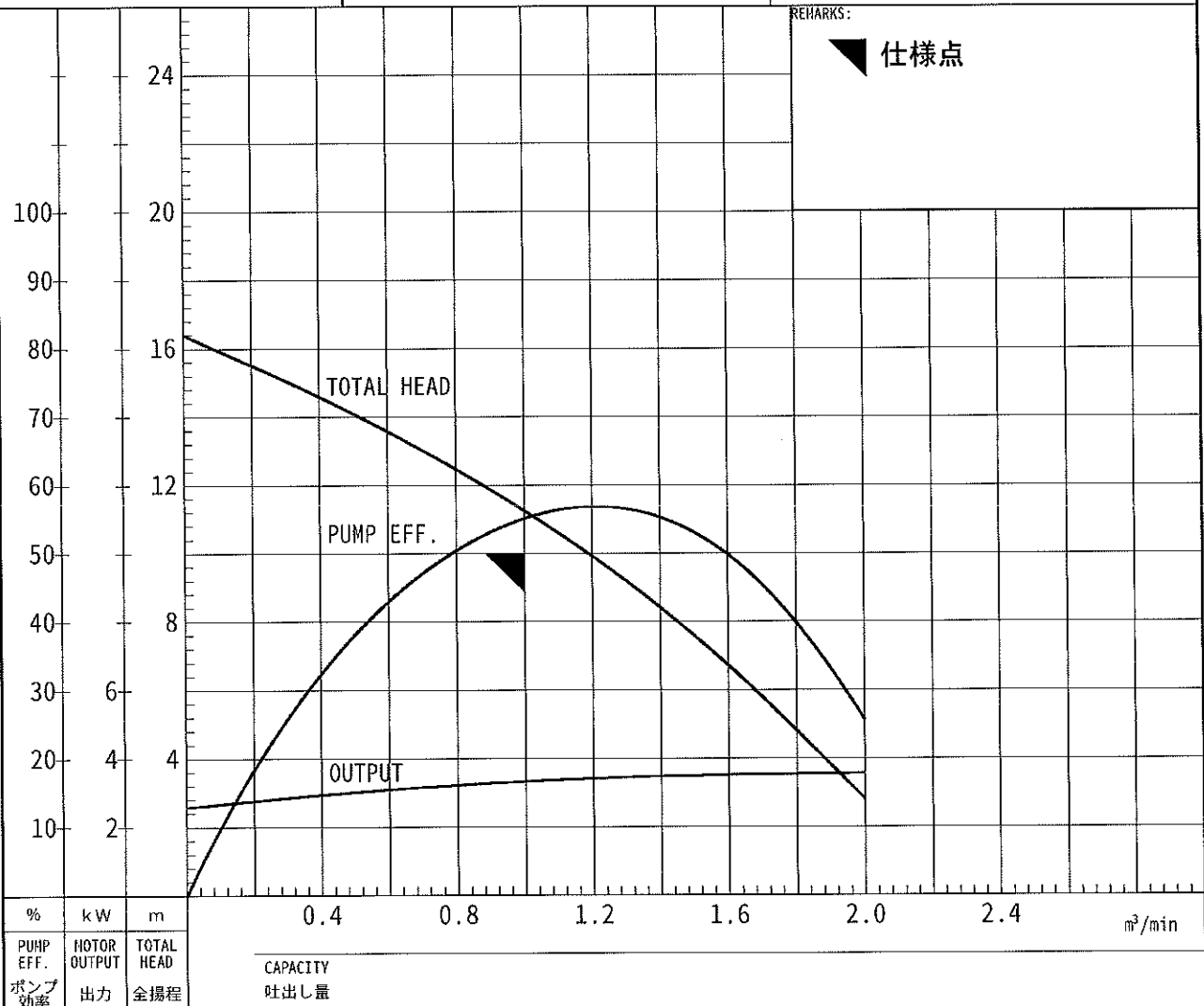
予想性能曲線図 PUMP PERFORMANCE CURVES

TYPE 汚物用水中ノンクログポンプ MODEL 型式 TOS100B43.7 - 52 FREQUENCY 周波数 50 Hz
名称

CUSTOMER'S NAME 御注文先 三浦市役所 殿

EQUIPMENT TITLE 機器名称 床排水ポンプ No.

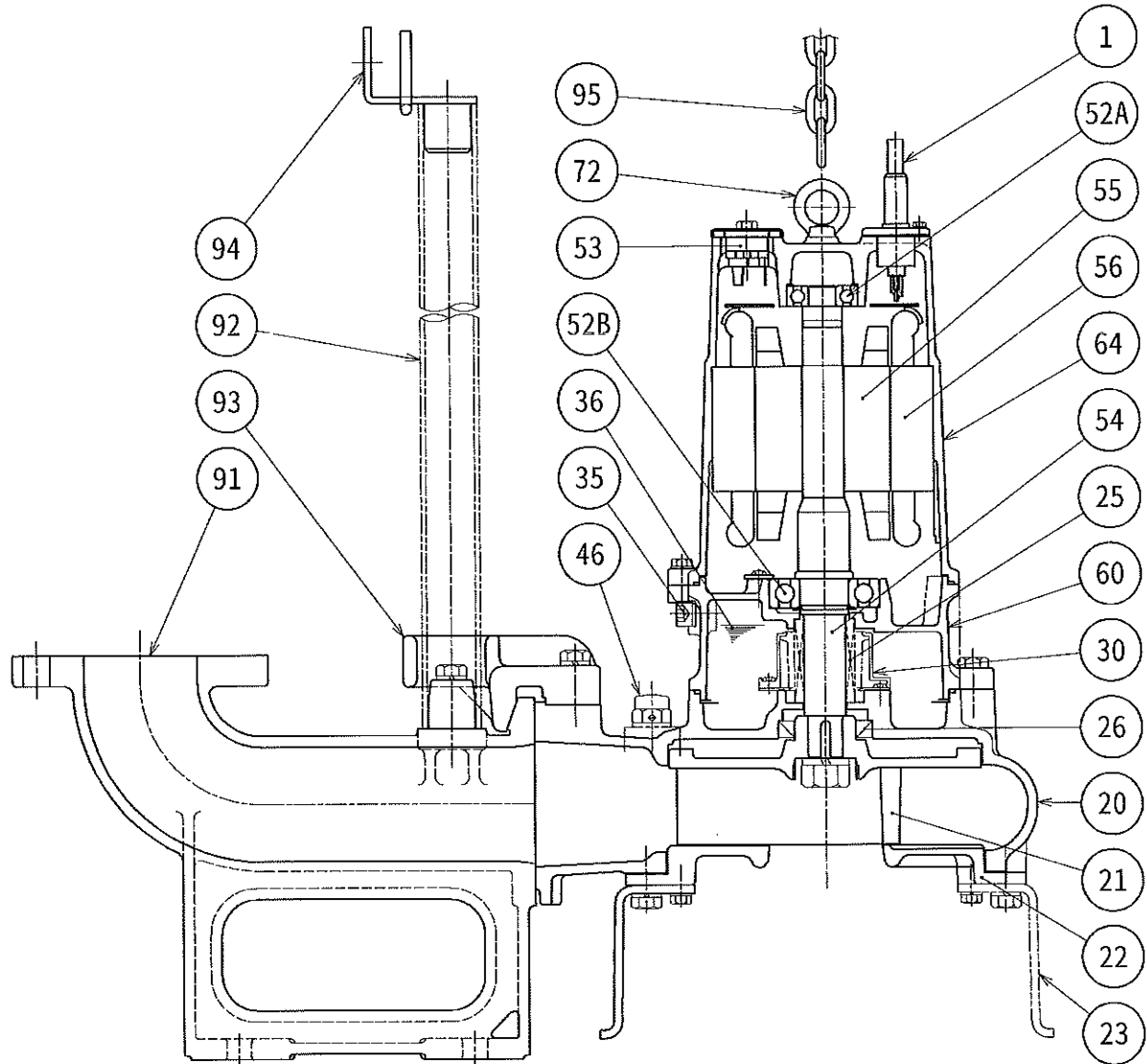
	標準仕様 STANDARD SPECIFICATIONS	御注文仕様 REQUIRED SPECIFICATIONS
口径 : DISCHARGE BORE	—80— mm	100 mm
全揚程 : TOTAL HEAD	—11— m	10 m
吐出量 : CAPACITY	1 m ³ /min	m ³ /min
出力 : MOTOR OUTPUT	3.7 kW	kW
相×電圧 : PHASE×VOLTAGE	3 φ × 200 V	φ × V
電流 : CURRENT	15.8 A	A
極数 : POLES / 回転速度 : SPEED OF ROTATION	4 P / S.S.1500 min ⁻¹	P / min ⁻¹
始動方式 : STARTING METHOD	じか入始動 /	
耐熱クラス : INSULATION CLASS	F /	



株式会社 鶴見製作所

TSURUMI MFG. CO., LTD.

構造図	SECTIONAL DRAWING	No.	No.	A-00029-9
TYPE	汚物用水中ノンクログポンプ	MODEL	TOS80B42.2-52/62	
名称		型式	TOS100B43.7-52/62	



	2.2kW	3.7kW
※1	2mm ²	3.5mm ²
※2	H-30A	H-35A
※3	TC456812	TC507212
※4	6307ZC3	6309ZC3

御注文仕様
変性エポキシ樹脂塗装3回塗り

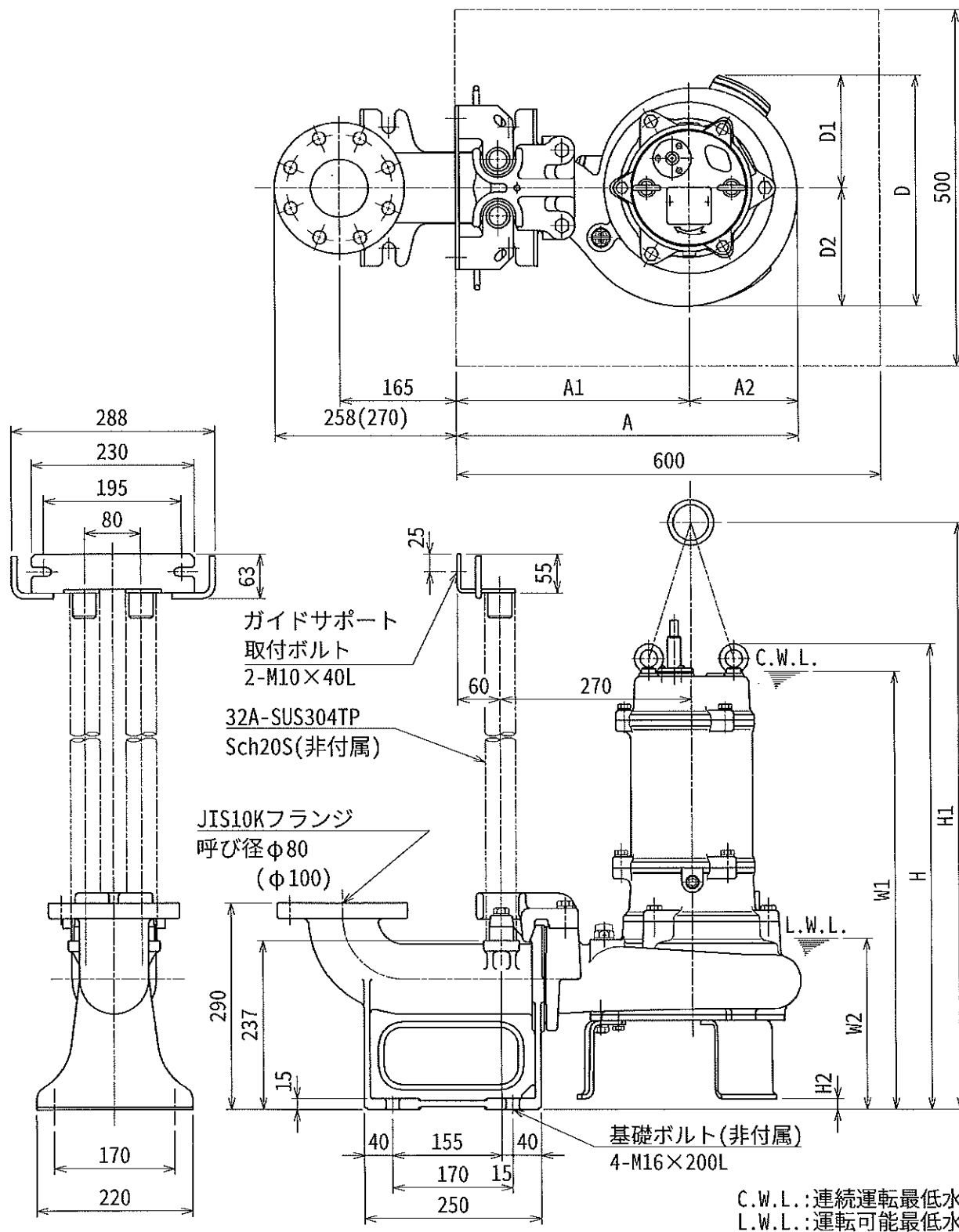
品番	品名	個数	材質 / 備考	品番	品名	個数	材質 / 備考
1	キャブタイヤケーブル	1	VCT 4c×20m※1	54	主軸	1	SUS420J2(接液部)
20	ポンプケーシング	1	FC200	55	回転子	1	
21	羽根車	1	FC200	56	固定子	1	
22	サクシヨンカバー	1	FC200	60	ベアリングハウジング	1	FC150
23	スタンド	3	SPHC	64	モータフレーム	1	FC150
25	メカニカルシール	1	※2	72	吊りボルト	2	SUS304
26	オイルシール	1	※3	91	着脱バンド	1	FC200
30	オイルリフター	1	樹脂	92	ガイドパイプ	2	SUS304TP(非付属)
35	注油プラグ	1	SUS304	93	ガイドフック	1	FCD450
36	潤滑油		タービン油 VG32	94	ガイドサポート	1	SUS304
46	エアバルブ	1	樹脂	95	チェーン	1	SUS304, 7m
52A	上部軸受	1	6304ZC3				
52B	下部軸受	1	※4				
53	モータ保護装置	1					

据付外形寸法図 DIMENSION DRAWING No.		No.	A-27189-1
TYPE	MODEL	TOS80B42.2 - 52/62	
名称	型式	TOS100B43.7 - 52/62	
		TOS80B43.7H - 53/63	

型式	A	A1	A2	D	D1	D2	W1	W2	H	H1	H2	概算質量(※)	
												着脱部	本体
TOS80B42.2 - 52/62	484	330	154	324	158	166	615	240	654	824	15	23kg	64kg
TOS80B43.7 - 52/62	489	330	159	333	158	175	685	245	723	893	10	23kg	82kg
TOS80B43.7H - 53/63	491	330	161	344	169	175	665	240	704	874	15	23kg	80kg

() 内寸法は、口径φ100の場合を示す。

※ケーブルは除く



C.W.L.:連続運転最低水位
L.W.L.:運転可能最低水位

保守点検記録表

使用者		点検年月日	
施設名称		監督員	
設置場所		点検者	

	ポンプNo.	No. 1排水ポンプ	No. 2排水ポンプ	床排水ポンプ
定格値	型式			
	定格電圧 (V)			
	定格電圧 (A)			
測定値	電圧値 (V)			
	運転電流値 (A)			
	運転回数 (点検前/後)			
	運転時間 (Hr)			
	貯水槽水位			

項目	内容	No. 1	No. 2	床排	項目	内容	No. 1	No. 2	床排
ポンプ関係	本体の作動状況				操作盤関係	本体の作動状況			
	ポンプ異音の有無					ポンプ異音の有無			
	モーター過熱の有無					モーター過熱の有無			
	逆止弁の作動状況					逆止弁の作動状況			
	サクションカバー磨耗					サクションカバー磨耗			
	水漏れの有無					水漏れの有無			
	キャブタイケーブルの良否					キャブタイケーブルの良否			
配管関係	配管状況				貯留槽 その他	水位の設定			
	腐食の有無					水槽の亀裂・漏れの有無			
	水漏れの有無					スクリーン腐食の状態			
	脱着装置の状況					浮遊物の有無			
	脱着接合部の水漏れ					土砂の堆積状況			
	脱着装置の腐食					周囲の状況			

判定基準 ○ : 良 △ : 要調査 × : 不良

特記事項

検 印

保守点検報告書

次の通り点検業務が完了しましたので報告します。

施設名称	令和 年 月 日	項目	番 No.1水中ポンプ	No.2水中ポンプ	排水ポンプ	分解点検 (オーバーホール)	備考
点検年月日		ポンプ性能				チェーン	
積算電力計 (電灯)		読み				キヤブタイゲール	
積算電力計 (動力)		ポンプ関係				ケーブル差込口	
受電電圧 V		その他				バンドル	
受電電流 A						ジャンクションBOX	
						端子台	
						ステーダ	
						ローターユニット	
						上部ベアリング	
						下部ベアリング	
						ベアリングカバー	
						メカニカルシール	
						キー	
						アイフェーザー (上)	
						アイフェーザー (下)	
						羽根車	
						羽根車ナット	
						ウエアリング	
						ゴムキヤップ	
						オイルシール・ガスケット	
						オリング ()	
						オリング ()	
						オリング ()	
						オリング ()	
						オリング ()	
						ポンプケーシング	
						ブラケット	
						ストレーナー	
						底フタ	
						オイル	
						塗装	

備考

特 記 仕 様 書

1. 本業務委託は、月に1回の地下雨水貯留施設の日常的な点検と年に1回（9月）のポンプの保守点検業務を行うものとする。但し、出水期（6、7、8、10月）は月に2回の日常点検を行うものとする。
2. 保守点検業務と日常的な点検は事前に監督職員に連絡し立会を求め、立会が出来ない場合は、前日若しくは当日に鍵を借受け作業終了後速やかに返却すること。
日常的な点検は、構内スクリーン清掃、流入柵清掃、雨水流入管点検、ポンプ点検、電気設備点検、作動状況を目視し、点検完了後に日報を提出する。
3. ポンプの保守点検業務には、別紙の点検管理項目について行うものとする。
4. 構内スクリーン、流入柵の清掃については、日常の点検管理の中で行うもので、土砂の堆積及びゴミ等の閉塞がある場合は除去し、状況写真を日報に添付すること。
5. 水位計フィルターの清掃を行う。
6. 本業務委託の経費率については、土木工事積算基準書（電気・機械編）機械設備点検・整備業務を使用している。

ポンプ場保守点検仕様書

1. 雨水、排水設備点検・整備の目的

排水設備を良好な状態に保持し、常に十分な機能を確保し、予想出来ない降雨の貯水に対しても確実に機能することを目的とする。

調整池の排水設備は、常時稼働率が低く、緊急時に対しての機能確保を考慮すると定期的な点検・整備が重要性を持つ。

2. 点検整備の範囲

設備の信頼性の向上を図るために、排水設備を一つのシステムと考え、排水ポンプ排水管、ポンプ操作盤、受電設備等を総合的に点検・整備する。

また、ポンプ槽及びブスクリン設備についても付帯施設の一つとして清掃を含めた点検、整備をする。

3. 点検・整備の内容

点検とは、設備の異常ないし損傷の発見、機能の良否の判定のために実施する目視、計測、作動テスト及びこれらの記録することである。

整備とは、損傷予防のため又は点検の判定結果に基づき、設備の機能保持及び復帰のために実施する清掃、調整、部品交換、修理を実施することである。

	点 検	整 備
目 的	設備の故障、疲労劣化等、機能損失の有無を確認	設備の故障、疲労劣化等の防止及び機能の回復
方 法	主として分解を伴わない。 目視、聴覚、臭覚、打診、触診、作動テスト及び計器による判定を行う	主として分解、交換を伴う。 清掃、塗装、油脂等の補給交換、部品の交換、各部の調整等を工具、用具にて行う

4. 点検

点検の種類

点検は、定期点検、運転時点検、臨時点検及び保守点検（遠隔監視制御システムコルソス）とする。

(1) 定期点検は、設備の老朽化等による損傷の発見及び劣化防止のため周期を定めて行うもので、作業目的による月点検、年点検に区分する。

1) 月点検

出水期（6、7、8、9、10月）

出水期には、出水に備え、設備の信頼性確保、機能維持を目的として、機器の整備状況、作動確認、偶発的な損傷の発見に主眼をおき、原則月2回実施するものとする。

ただし、年点検実施月（9月）は月点検1回、年点検1回とする。

非出水期（5、11、12、1、2、3月）

非出水期には、設備の維持機能を目的として、出水期に準じた点検を原則として、月1回実施するものとする。

2) 年点検

年点検は、設備の機能回復、信頼性確保、機能維持を目的として全体的機能の確認を主眼として9月に行うものとする。

(2) 運転時点検は、始動条件の確認と連続運転性能の確保を目的として、設備の運転に際しての異常の有無を確認するため実施する。

(3) 臨時点検は、地震、落雷、火災、暴風雨等が発生した場合必要に応じ施設の点検を実施するものとする。

5. 点検の周期

点検の周期は下記の表のとおりとする。

		月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
定期点検	種類	出水期			■										
	月		非出水期		■						■				
	年								■						
運転時点検 (日常的点検)				■											
臨時点検 (都度点検)				■											

6. 点検項目及び内容の概要 (別紙点検記録表参照、点検記録表に記載されていない項目については、別の報告書を作成すること。また、点検状況・点検結果が確認出来る写真を添付すること。)

(1) 月点検

1) ポンプ

作動状況の確認

異常音、振動の有無確認

モーター過熱の有無確認とケーシング内異物除去

2) 配管

配管の状況確認

水漏れの有無確認

スルース弁、チャッキ弁の作動確認

3) 操作盤及び電源盤

操作盤の動作状況及び電流圧確認

水位計の動作確認

絶縁抵抗測定

ランプ類点灯確認

リレースイッチ、ヒューズの確認及び予備品補充

4) 照明

点灯確認

5) 電動ゲート

作動状況の確認

戸当り回り異物除去

外観確認

6) スクリーン（固定式）

外観確認

異物除去

7) ポンプ室内

異物、土砂堆積状況確認のうえ、必要と認められる場合は除去する。

(2) 年点検

1) ポンプ室内（排水施設・操作制御設備・電源設備・補助機器設備）

水中ポンプ、水位測定装置等、ポンプ槽、スクリーン、流入路、排水路等

主配管及び小配管、弁類、管継手類、配管架台等、機側操作盤、遠方操作盤、手元開閉器、
受電盤、配電盤、換気扇、換気装置、照明設備等

引上げ後インペラ、サクションカバー磨耗及び腐食の有無確認

2) 自動通報装置

作動確認

(3) 運転時点検

1) 実負荷運転の状況確認

運転電流、電圧の確認

揚水状況の確認(手動・自動)

その他異常の有無確認

(4) 臨時点検

1) 総合試運転による異常の有無確認

2) 軽度の不具合に対しては予備品の補充、清掃等により対応する。

(5) 保守点検（遠隔監視制御システム）

1) 遠隔監視制御システムコルソスにおける、通報データ設定変更作業（Eメール通報先10カ所まで。）